

◎議会報告（ワークショップ）

テーマ 少子高齢化時代のコミュニティづくり

A班 子どもたちに片丘の良さを残したい！

A-1班

① 片丘の良いところ

- 自然
 - ・ 豊かで景観がいい、緑が多い、環境に恵まれている。
 - ・ 災害が少ない。
 - ・ 保育園や小学校で野菜作りが体験できる。
- 人や文化
 - ・ 人柄がよい、穏やかな風土で人情がある。
 - ・ 地域のつながりがある。
 - ・ 日中家にいる高齢者が多い。
 - ・ 学校行事に保護者の協力が大きい。
- 街並み
 - ・ 田畑が多い。
 - ・ 地価が安い。
 - ・ 商店が少ない。
 - ・ 県の施設が多い。
 - ・ 保育園や小学校がゆったりとしている。（空き教室が多い）
 - ・ 交通量が少ないので危険な個所も少ない。
 - ・ 不便なところもあるが、何処へ行くにもアクセスは良い。

② 片丘の課題

- 農地
 - ・ 後継者が少なく荒れている。
 - ・ 耕作放棄地が多く荒地ばかりになってしまう恐れがある。
 - ・ 春は土ぼこりが多い。
- 少子化
 - ・ 子どもが少ない、子ども達が帰ってこない。
 - ・ 片丘のプランが見えない。
- 街並みや交通

- ・ 地価は安い家が建てられない、調整区域のため宅地化ができない。
- ・ コンビニや商店が少ない。
- ・ 県営住宅は長期入居者が多く人口の出入りが少ない。
- ・ 交通が不便で自家用車がないと移動が難しい。

③ 改善の提案

- 人のつながり
 - ・ 子ども達に片丘は良い所と思ってもらえるようにすることや伝えることが必要。
 - ・ 子ども達が帰ってきやすいように夏祭り等工夫をこらしたらどうか。
 - ・ 高齢者と子ども達の交流や年代を超えた交流が必要。
- 制度や仕組み
 - ・ 役員の負担が多いので検討を。
 - ・ 工業団地はあるので商業地を増やしたり、コンビニの出店を。
 - ・ 農家分家以外でも家が建てられるように、調整区域などの法改正を。(一部緩和)
 - ・ 耕作放棄地を解消するための組織や仕組みが必要。
 - ・ ソヤノウッドパーク関連で周辺に遊園地をつくり交流人口を増やし地域の活性化を。
- 補助金を活用
 - ・ 子育ては高校や大学進学で教育費がかかり大変なので、教育費の負担軽減必要。
 - ・ 地域づくりを進めるために経費が必要なので補助金を活用できたらいい。

A-2班

① 片丘の良いところ

- 人間関係
 - ・ 隣どうしの付き合いがあってよい。お隣を気に掛ける。
 - ・ 人柄がよい。人情味がある。
 - ・ 住みやすい。
 - ・ 困ったことがあったとき相談できる。
 - ・ 子育てサロンの若いお母さんたちとの交流が充実している。
- 文化
 - ・ 開発が遅れ、昔が残っているところ。
 - ・ 住みやすい環境。
 - ・ 夜景がきれい。景観がよい。
 - ・ 地域の文化を語り、活用を図る自主的な団体が活動している。
 - ・ 常会でうお釣り大会や、餅つきなどを行っている。
- 自然環境
 - ・ 水がおいしい。
 - ・ 里山・集落など、地形的にも変化に富んでいる。
 - ・ 新鮮な野菜が豊富にある。

- ・ 自然が豊か。
- ・ 災害が少ない。
- ◎畑作中心（特にブドウ）、自然が残り、景観もよい。昔ながらの人情や共同体意識が残っている。
- ◎ 自発的に講演会なども企画している。

② 課題

- 生活面
 - ・ 交通の便が悪い。バスの本数が少ない。通学路が危険。(3)
 - ・ 食料品店、生活用品のお店が少ない。(2)
 - ・ 娯楽施設がない。
 - ・ 防犯が手薄。
 - ・ 医者がいない。
- 少子高齢
 - ・ 高齢者の一人暮らしが多い。(3)
 - ・ 団地の高齢者世帯が増えている。
 - ・ 子供が少ない。小学校の存続が心配。
 - ・ 工場ができて雇用が増えていない。県の出先機関はあっても雇用は増えない。
 - ・ 飲食店がないから、交流や出会いの場所がない。
- ◎ 市街地への人口流出、生活の不便さが悪循環になっている。

③ 改善の提案

- ・ 世代を超え交流し協力していく。
- ・ 地域の文化財の整備、活用による活性化。
- ・ 日帰り温泉をつくってほしい。
- ・ 高ボッチへの道路整備。
- ・ 団地の造成。
- ・ 食料などの移動販売。
- ◎ その他、「現職議員が努力すべきだ。」「アスティ片丘や崖の湯の料理の工夫をすべきだ。」などの意見あり。

B班 住み慣れた地域で安心して暮らすには

B-1班

① 片丘の良いところ

- 自然環境
 - ・ 自然が多い
 - ・ 見晴らしが良い

- ・ 住環境が良い
- 人づきあい
 - ・ 子供たちが素直
 - ・ 人間関係が良い
 - ・ 近所づきあいがある
 - ・ 皆、知り合い
- 自然災害
 - ・ 災害が少ない
 - ・ 自然災害が少なく住みやすい
- 住環境
 - ・ 車での移動には地理的には便利
 - ・ 水道の水がおいしい
 - ・ 交通の利便が良い
 - ・ 色々な作物が出来ておいしい

② 片丘の課題

- 少子高齢化
 - ・ 高齢化が進んでいる
 - ・ 小中学生の減少が目立つ
 - ・ 高齢化に伴い各種役員のメンバーが不足する
 - ・ 人を集める働く場が減っている
- 住宅問題
 - ・ 調整区域で家が建てられない
 - ・ 空き家が出始めている
 - ・ 住宅を建てにくい
- 交通問題
 - ・ バス停が遠い人がいる
 - ・ 車に乗れなくなる人が増えていくが、その対応は？
 - ・ 高齢者の車の運転が心配
 - ・ 公共交通機関が少なく、車が移動手段となるが、バスの本数を増やしてほしい
 - ・ よその車が流入し、通過車両となっている
- 買い物
 - ・ 生活する為の商圈が徒歩圏内にない
 - ・ 店舗が近くになく、買物弱者をどうするか？
- 鳥獣対策
 - ・ 野生動物が畑等に出没し被害が大きくなっている
 - ・ 休耕地を少なくする工夫を
- 災害対応
 - ・ 災害が少ないので緊急時に対応できるか心配
 - ・ 災害に対応する為に備蓄倉庫が必要

③ 改善の提案

- 高齢者福祉
 - ・ 人が集まれるセンターなどの福祉施設を充実させる
 - ・ 高齢者の税金を軽減する
 - ・ 地域のつながりを今後も深め見守る
- 交通の確保
 - ・ バスよりも本数が多く、行き先の自由度がある乗り合いタクシー（デマンドバス）的なものがあれば便利に利用できる
 - ・ 運転ボランティアをもっと活用できないか
 - ・ 歩行者を大切にす歩道環境の充実
 - ・ バスをもっと利用してバスの本数を増やし将来的にはコミュニティーバスの運行を
- 住宅確保、人口対策
 - ・ 若い夫婦、子供達を増やすために、おせっかいで、もっと結婚を勧める
 - ・ 片丘に来て住んでもらうために、空家を活用し、人口の増加につなげる
 - ・ 市街化調整区域を外してほしい
- 安心、安全
 - ・ 交番は是非必要である
 - ・ 相談窓口を設定し連絡しやすい環境作りが必要
- 生活用品、食の確保
 - ・ 生活用品や食料品の移動販売が実現すると便利になる

B-2班

① 片丘の良いところ

- 地域性（地域の雰囲気）の良さ
 - ・ ゆったり、のんびりで穏やかなテンポ
 - ・ 人がのんびりしている
 - ・ 優しい人、あたたかい人が多い
 - ・ 世話焼きが多い
 - ・ 郷土への土着意識が強い(特に男性)
- 景観、自然の良さ
 - ・ 風景、景色が良い
 - ・ 空気がきれい
 - ・ 自然が多い
 - ・ 利用可能な土地がたくさんある
 - ・ 自然の中にあり、遊戯施設等から離れている
- 学校等との関わりが深い
 - ・ 学校に対して地域の人が協力的

- ・ 少人数のため、皆が顔見知り
- ・ 少人数のため、先生が十分に対応できる
- ・ 学校でも「かたおか桜」の増加に取り組んでいる
- その他
 - ・ 田舎でありながら、市街地への交通の便は良い
 - ・ 店舗が少ないため、子供の無駄使いが少ない

② 片丘の課題

- 安全性の確保
 - ・ 通学路の安全確保
 - ・ 県道と高速道路が交差する北側へ信号設置
 - ・ 通勤などの抜け道になっている
- 遊び場の確保
 - ・ 子供の遊び場がない
 - ・ 少子化への対応
 - ・ 子ども（児童数）が減少している
 - ・ 友達と遊ばなくなっている
 - ・ 遊びの内容が変わってきている
- 親の労働環境の変化
 - ・ 共稼ぎのため、帰宅後、子供たちだけで留守番をする
 - ・ サラリーマンがほとんどになってきている
- 地域の活性化
 - ・ 片丘の良さを生かすため、地域挙げての取り組みが必要
- 空き家の活用策
 - ・ 後継者となる若者が少ない
- その他
 - ・ 人は良いが、表れるまで時間がかかる
 - ・ 子供を大切にする方法が変わってきている（物質的な供与に傾いている）
 - ・ 通学に使えるバスは朝一本のみで、各家飲食店がないから、交流や出会いの場所がない。

③ 改善の提案

- 安全性の確保
 - ・ 白ライン上に赤白ポールを設置する
 - ・ スクールバスの通年化
 - ・ 時間制限で大型トラックの侵入禁止や一方通行とする
- 遊び場の確保
 - ・ 旧片丘南部保育園を公園に
 - ・ 人の集まる場所（Fパワー）の活用

- 少子化への対応
 - ・ 大規模営農団地を造成して、就労と人口増加を実現する
 - ・ 農地と住宅地を明確化する
- 地域の活性化
 - ・ 都会の子供が1～2週間学習するいなか留学制度を作る（空き教室利用）
 - ・ シネコンなどの集客施設を設ける